

3 月 臨 時 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 平成 28 年 3 月 24 日 (木)
- 2 開 催 場 所 新館 8 階教育委員室
- 3 出席した委員 吉田委員長、坂元委員、廣岡委員、田淵教育長
- 4 欠席した委員 森委員
- 5 出席した職員 諏訪教育総務部長、日浦教育指導部長、
大西教育総務部次長、谷池教育指導部次長、
青山教育指導部参事、吉田教育総務課長
芝本教育総務課副課長
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 議 事 の 要 旨
 - 開 会 午後 4 時 00 分
 - 会議録署名委員指名のこと
吉田委員長、坂元委員に決定
 - 会議公開の可否決定のこと
協議事項 1 「事務局及び学校その他の教育機関の職員の異動について」は非公開と
することに決定

(協議事項)

- 1 事務局及び学校その他の教育機関の職員の異動について
原案可決
(議事を非公開とする)

○ 教育委員諸報告

[委員長から]

(1) 氷丘中学校卒業式について

氷丘中学校では卒業生全員が卒業証書を受け取る方式であったが、昨年度の加古川中学校では総代が代表して受け取る方式であった。それぞれの学校において伝統を受け継いでおり、様々な進行方法があることを興味深く感じた。

ただ、欠席者の名前が呼ばれた際にクラス全員で返事する場合と、誰も返事しない場合があったことについては違和感があり、統一する方が良いように感じた。

委員：卒業式の2日後に高校入試が実施されたが、卒業生たちの状況に特に問題はなかったか。

事務局：調子が悪い生徒は別室で受験させるなど、高校側が柔軟に対応してくれたこともあり、特に問題なく終了した。

[坂元委員から]

(1) 中部中学校卒業式について

病気等により欠席した生徒は5名のみであり、マスクを着用する必要もなく、落ち着いた雰囲気の中でとても素晴らしい式であったと思う。

[廣岡委員から]

(1) 浜の宮中学校卒業式について

欠席者も多く、参加者全員がマスクを着用している状況の中で開催された。インフルエンザ等の状況を考慮すると、式典の時間を短くするなど、生徒の健康に配慮した措置を検討する余地があるようにも感じた。総合的には素晴らしい式であり、生徒の思い出に残るものであったように思う。

○ その他報告事項

(1) 市内中学校における答案用紙等の一時紛失について

2月26日深夜に、市内中学校の教員が自宅へ帰宅中、期末テスト答案用紙156人分を紛失した。2月27日の19時過ぎに、当該教員の自宅付近にお住いの方から当該答案用紙を拾得した旨の連絡を受け、回収、確認を行った。

市教育委員会としては2月29日に臨時校長会を開催し、再発防止に向けた周知徹底を図るとともに、学校においても、2月29日に全校集会、3月1日に保護者説明会を開催し、事案の説明と謝罪を行った。

委員： 答案用紙を発見できなかった場合、対象生徒全員の家庭に訪問して謝罪すべき事案になっていたかもしれないが、そのあたりはどう考えているのか。

事務局： 27日に教員等で答案用紙の搜索を行ったが発見できなかったため、個別訪問の体制を準備し、PTAの方と調整を行っていたところ、拾得された方からの連絡があったため、最終的に保護者説明会での対応としたものである。

委員： 採点するために自宅に答案用紙を持ち帰ったということであるが、結果的には1枚も採点しなかったことにより、事案の発生覚知が遅れている。何も処理をしないのであれば持ち帰るべきではない。紛失したことに気付かず覚知が遅れたことは教員の意識の低さの表れである。

(2) 市内小学校における教員の不適切な行為について

3月2日早朝に、市内小学校の教員が正門付近に落ちていた黒い袋を見つけ、校内に持ち込み中身を確認したところ、複数枚の成人向けDVDであることがわかった。そのうち1枚のDVDを、6年生児童が清掃を担当する教室の机の上に放置していた。3月3日に保護者から学校へ連絡があり、当該事案が発覚した。

市教育委員会としては、当該事案を兵庫県教育委員会に報告するとともに、校長及び当該教員に対して厳しく指導した。

学校においても、6年生児童への説明と謝罪を行うとともに、3月5日に保護者説明会を開催し、事案の説明と謝罪を行った。

委員：教育委員会議では、大きな方針・方向性を決定しているところであるが、それに基づき、教職員は使命感をもって職務に取り組んでくれているものと信じている。そのような中、このような報告がなされることは誠に遺憾である。

本来であれば管理職員に報告した上で警察へ提出するなど、適切に処理されるべき事案であるにも関わらず、拾得物の横領に類似する行為、故意に破棄する行為等を含め、一人の大人として許されない対応であるため、厳正に注意をしてもらいたい。

(3) 市内小学生への暴行事案について

3月20日14時過ぎ、市内の公園において、75歳の男性がたばこのポイ捨てを注意されたことを理由に1年生児童の首を絞め、逮捕された。幸い当該児童及び付近にいた児童にもけがはなかった。

今後、児童の心のケア等について、学校と連携しながら対応していく予定である。

委員：先ほどの2件の報告も含め、「当たり前」のことが「当たり前」にできていない大人がいることが問題である。

教育行政としては、褒められるようなことが増えるよりも、事件がなく、子どもたちが平穏に当たり前の生活を過ごせることの方が尊いことであり、一番大事にするべきことであると思うので、特に学校園の管理職員にはそのような意識を持ってもらうよう事務局から指導願いたい。

委員：「悪いことは悪い」と言える子どもたちが育つ体制を構築していく必要があると考えるが、今回の事件が子どもたちの善行を萎縮させることにつながらないように、対策を講じてもらいたい。